

エコアクション21 環境経営レポート

活動期間（2021年4月～2022年3月）



orient  **ing**

株式会社 オリエント アイエヌジー

長崎県長崎市馬町55番地

2022年6月1日発行

目 次

1. 組織の概要	1
2. 環境経営方針	3
3. 環境負荷及び取組への自己チェック	3
4. 環境経営目標	4
5. 環境経営活動	5
6. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価	
並びに次年度の環境経営目標及び環境経営計画	6
7. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反	
訴訟などの有無	13
8. 代表者による全体の評価と見直し・指示	13

1. 組織の概要

(1) 会社概要

社名	株式会社 オリентアイエヌジー (カブシキガイシャ オリентアイエヌジー)	
設立	1967年 (昭和42年) 10月 18日	
本社所在地	〒850-0022 長崎県長崎市馬町55番地	
	TEL : 095-821-5656 FAX : 095-823-4420	
	URL: https://orient-ing.jp/	
諫早営業所	長崎県諫早市本明町1840番地	
佐世保営業所	長崎県佐世保市瀬戸越4-1370-81	
大村営業所	長崎県大村市須田ノ木町967番地1	
雲仙営業所	長崎県雲仙市瑞穂町西郷甲735番地1	
南島原営業所	長崎県南島原市有家町石田91	
五島営業所	長崎県南松浦郡新上五島町青方郷2101-2	
対馬営業所	長崎県対馬市厳原町小茂田100	
資本金	30,000,000円	
役員	代表取締役社長	中島 靖人
	取締役	中島 洋子
		岩永 千治
		杉本 秀弘
環境管理責任者	設計部課長	口石 敏政
	連絡先	E-MAIL: t-kuchiiishi@orient-ing.jp
加入団体	(社)日本測量協会	(社)長崎県測量設計コンサルタンツ協会
	(社)日本補償コンサルタント協会	(社)長崎国際観光コンベンション協会
	(社)長崎建築士設計事務所協会	(社)ツタワールドボク
	(社)全国防災協会	
	(社)全日本不動産協会	
登録一覧	建設コンサルタント	建28第5830号
	補償コンサルタント	補30第2338号
	測量業者	(11) -8408号
	地質調査業者	質29第2066号
	一級建築士事務所	長崎県 第(20)-10737号
	宅地建物取引業者	長崎県知事(2)第3936号
職員数 (2022年4月)	技術系	45名
	事務系	14名
	計	59名
売上高 (2020.10~2021.9)	445百万円	
延床面積	本社	983㎡

(2) レポートの対象期間

(2021年4月~2022年3月)

(3) 認証・登録範囲

(当社は全組織・全活動を登録範囲としています)

本社、諫早営業所、佐世保営業所、大村営業所、雲仙営業所、南島原営業所、五島営業所、対馬営業所

2. 環境経営方針

(1) 基本理念

私どもは、コンサルタントとしての活動の中で、事業の効率化並びに無駄の排除に取り組むことで、自主的、積極的に持続可能な社会の構築に寄与し、環境負荷の低減に努めると共に、継続的改善に取り組みます。

(2) 行動方針

- 1) 二酸化炭素排出量を削減する（電気使用量、ガソリン、灯油等の使用量削減）。
- 2) 廃棄物の削減を推進する。
- 3) 総排水量の削減を推進する。
- 4) グリーン購入を推進する。
- 5) 環境に配慮した設計を行う。
- 6) 環境関連法規や当社が約束した方針は、遵守する。
- 7) 環境経営方針は全社員に周知する。
- 8) コスト削減に取り組む。

改訂：2018年4月2日

長崎県長崎市馬町55番地

株式会社オリエントアイエスジー

代表取締役社長 中島 靖人

3. 環境負荷及び取組への自己チェック

(1) 過去3年間（2019年～2021年）の実績

年度(4月～翌年3月)

項目	単位	2019年度	2020年度	2021年度
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	41,927	39,993	45,883
電力	kWh	44,002	44,942	49,439
ガソリン	リットル	10,006	9,727	10,586
灯油	リットル	572	0	0
一般廃棄物	kg	1,425	1,045	1,225
コピー用紙	kg	1,412	1,396	1,428
水使用量	m ³	325	336	310

注1) 電力の排出係数は、九州電力の2018年度調整後排出係数:0.347 kg-CO₂/kWh
長崎地域電力の2018年度調整後排出係数:0.502 kg-CO₂/kWhを使用する。

(2) 環境への取組の自己チェック

総合評価

214	224
-----	-----

2021年4月作成

	評価項目	評価点	満点	実施率
1	事業活動へのインプットに関する項目	134	142	94%
2	事業活動からのアウトプットに関する項目	52	52	100%
3	製品及びサービスに関する項目	22	22	100%
4	その他	6	8	75%

4. 環境経営目標（2020年度～2022年度）

年度は4月～翌年3月

環境経営目標項目		単位	2018年度 基準値 通年	2020年度	2021年度	2022年度
二酸化炭素排出量削減	総量		44,828	44,783	44,738	44,694
	kg-CO2/人		996	933	932	860
	削減率		-	-0.1%	-0.2%	-0.3%
電力量削減	総量		44,730	44,685	44,641	44,596
	kWh/人		994	931	930	858
	削減率		-	-0.1%	-0.2%	-0.3%
がリオン使用量削減	総量		10,980	10,969	10,958	10,947
	リットル/人		244.0	228.5	228.3	210.5
	削減率		-	-0.1%	-0.2%	-0.3%
灯油使用量削減	総量		702	701	701	700
	リットル/人		15.60	14.60	14.60	13.46
	削減率		-	-0.1%	-0.2%	-0.3%
廃棄物排出量削減	総量		985	984	983	982
	kg/人		21.89	20.50	20.48	18.89
	削減率		-	-0.1%	-0.2%	-0.3%
コピー用紙削減	総量		1,516	1,515	1,513	1,511
	kg/人		33.69	31.55	31.52	29.06
	削減率		-	-0.1%	-0.2%	-0.3%
総排水量削減	総量		318.0	317.7	317.4	317.0
	m3/人		7.07	6.62	6.61	6.10
	削減率		-	-0.1%	-0.2%	-0.3%
グリーン購入の推進	環境対応品を導入する	品目	報告書用ファイルは、環境仕様品を購入	報告書用ファイルは、環境仕様品を購入	報告書用ファイルは、環境仕様品を購入	報告書用ファイルは、環境仕様品を購入
自社の製品・サービスに関する環境配慮	環境に配慮した設計を行う	実績	再生材の利用、環境に配慮した工法の提案	再生材の利用、環境に配慮した工法の提案	再生材の利用、環境に配慮した工法の提案	再生材の利用、環境に配慮した工法の提案
地域貢献	愛護団体活動に参加し、地域の清掃美化に取り組む。	実施回数	2回/年	2回/年	2回/年	2回/年
本社 社員数		名	45	48	48	52
稼働日数		日	244	243	242	242

注1) 電力の排出係数は、九州電力の2018年度調整後排出係数:0.347 kg-CO2/kWh
長崎地域電力の2018年度調整後排出係数:0.502 kg-CO2/kWhを使用。

注2) 環境経営目標値は本社を対象とし、他の営業所については定性的な目標のみを定めるものとする。

5. 環境経営活動(2020年度～2022年度)

責任者 口石敏政

目標項目		目標値	達成年度	活動内容
CO2 排出量 削減	電力量 削減	0.3%/3年	2022年度	昼休み時の電気消灯。
				洗面所未利用時の消灯。
				階段照明のこまめな消灯。
				残業時の照明は、必要最小限度とする。
				個人での電力使用を控える。
				エアコン設定温度の一定化。
				エアコン使用時間の制限等
				不要な蛍光灯・電源の取り外し。
				よしず等で室内への熱遮断。
				エアコン室外機への熱遮断対策など。
				外出時はパソコン電源OFFを徹底。
				パソコンの設定を省電力に変更する。
				社員のエレベータ使用抑制。
				Eアコンフィルタ、年二回の清掃（6月及び12月）。
使用燃料 削減	0.3%/3年	2022年度	急発進、急加速を控え、法定速度の遵守。アイドリングストップ。	
			長距離移動（県北振興局管内等）の場合、高速道路を利用する。（ETC設置の車に限定）。	
			タイヤ空気圧の点検を定期的実施する。	
オイル交換を定期的実施する。				
廃棄物 排出量 削減 コピー用紙 削減	使用枚数 削減	0.3%/3年	2022年度	社内資料はカラーでなく極力白黒にする。
				印刷前にプレビューして、印刷内容を確認し、試用並びにチェック用は裏紙を使用する。
				古紙については、「ながさきオフィスエコクラブ」に加入し、古紙リサイクルに協力する。
				古新聞については、新聞販売店に回収を依頼。
総 削減 水量	水道使用 量削減	0.3%/3年	2022年度	手洗い水の節水。
グ リ ン 購 入	環境対応品の導入		2022年度	環境対応品を導入する。
境 境 に 自 社 の 配 慮 を 行 う	環境に配慮した 設計を行う		2022年度	環境に配慮した設計を行う。
貢 地 域	2回/1年		2022年度	愛護団体活動に参加し、地域の清掃美化活動に取り組む。

6. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価

6.1 環境経営目標の実績・取組結果とその評価

環境経営目標項目	単位	2018年度	2021年度	2021年度	達成率	評価	
		基準値	目標値	実績値			
二酸化炭素排出量削減	総量	44,828	44,738	45,883			
	kg-CO2/人	996	932	956			
	削減率	—	-0.2%	2.4%	98%	△	
電力量削減	総量	44,730	44,641	49,439			
	kWh/人	994	930	1,030			
	削減率	—	-0.2%	10.5%	90%	△	
ガソリン使用量削減	総量	10,980	10,958	10,586			
	リットル/人	244.0	228.3	220.5			
	削減率	—	-0.2%	-3.6%	104%	○	
灯油使用量削減	総量	702	701	0	ストーブ廃止の為、 灯油の項目削除		
	リットル/人	15.6	14.6	0.0			
	削減率	—	-0.2%	-100.0%		◎	
一般廃棄物排出量削減	総量	985	983	1,225			
	kg/人	21.89	20.48	25.52			
	削減率	—	-0.2%	24.4%	80%	×	
コピー用紙削減	総量	1,516	1,513	1,428			
	kg/人	33.69	31.52	29.75			
	削減率	—	-0.2%	-5.8%	106%	○	
総排水量削減	総量	318	317.4	310			
	m3/人	7.07	6.61	6.46			
	削減率	—	-0.2%	-2.5%	102%	○	
グリーン購入の推進	環境対応品を導入する	品目	報告書用ファイルは、環境仕様品を購入	報告書用ファイルは、環境仕様品を購入	報告書用ファイルは、環境仕様品を購入	100%	○
自社の製品・サービスに関する環境配慮	環境に配慮した設計を行う	-	再生材の利用、環境に配慮した工法の提案	再生材の利用、環境に配慮した工法の提案	再生材の利用、環境に配慮した工法の提案	100%	○
地域貢献	愛護団体活動に参加し、地域の清掃美化に取り組む。	実施回数	2回/年	2回/年	2回/年	100%	○
本社社員数		名	45	48	48		
稼働日数		日	244	242	242		-

達成率 ◎: 110%以上

○: 109%~100%

△: 99%~90%

×: 90%未満

※: 削減目標達成率 (%) = 目標/実績
改善目標達成率 (%) = 実績/目標

注1) 電力の排出係数は、九州電力の2018年度 調整後排出係数: 0.347 kg-CO2/kWh
長崎地域電力の2018年度 調整後排出係数: 0.502 kg-CO2/kWhを使用。

◇前年度実績値との対比◇

環境経営目標項目	単位	2020年度	2021年度
二酸化炭素排出量削減	実績値 (kg-CO2)	39,993	45,883
	kg-CO2/日	165	190
	前年比との対比		14.7%
電力量削減	実績値 (kWh)	44,942	49,439
	kWh/日	185	204
	前年比との対比		10.0%
ガソリン使用量削減	実績値 (リットル)	9,727	10,586
	リットル/日	40.0	43.7
	前年比との対比		8.8%
灯油使用量削減	実績値 (リットル)	0	0
	リットル/日	0.00	0.00
	前年比との対比		#DIV/0!
廃棄物排出量削減	実績値 (kg)	1,045	1,225
	kg/日	4.30	5.06
	前年比との対比		17.2%
コピー用紙削減	実績値 (kg)	1,396	1,428
	kg/日	5.74	5.90
	前年比との対比		2.3%
総排水量削減	実績値 (m3)	336.0	310.0
	m3/日	1.38	1.28
	前年比との対比		-7.7%
稼働日数	日	243	242

注1) 電力の排出係数は、九州電力のR2年度 (H30年度実績) 排出係数:0.347 kg-CO2/kwh
長崎地域電力のR2年度 (H30年度実績) 排出係数:0.502 kg-CO2/kwh

◇評価並びに次年度の取組内容◇

【二酸化炭素排出量削減】 ガソリン使用量削減率が目標値に達しなかった事もあり、目標値-0.2%に対し実績値+2.4%となり、目標は未達成であった。前年度比でも+14.7%の増加となった。

テレワーク実施の為、一部のパソコンが常時稼働する等、ワークスタイルが変わった事から、電力量が増加する傾向にあるが、電力量削減に努めるものとする。

2022年度の実績を踏まえ、目標値の見直しについて、次年度以降は検討する。

【電力量削減】 目標値-0.2%と比較し、実績値は+10.5%となり、目標は未達成であった。前年度比でも+10.0%増加であった。2021年度は、テレワークの為、社内のパソコンを常時稼働している社員が一定数居り、例年より毎月の使用量が増加している事に加え、1月2月が寒かった事等による冬季の電力量増加も影響しているものと思われる。

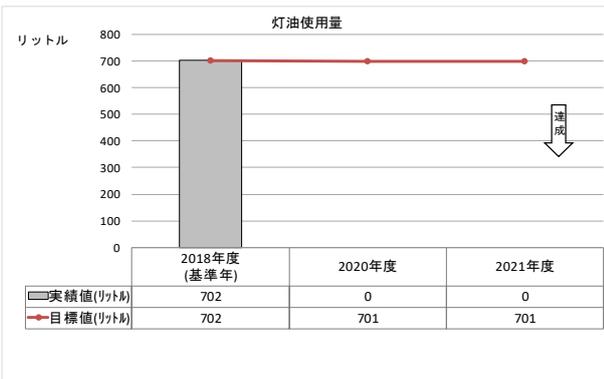
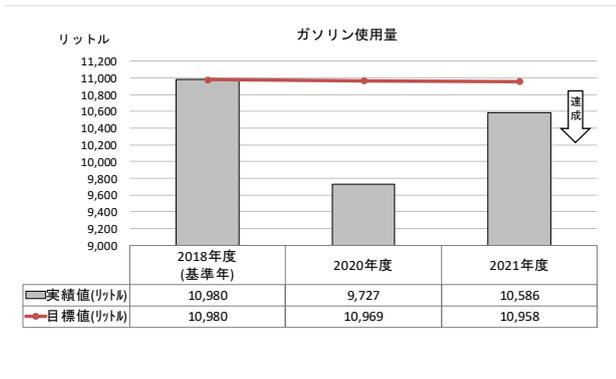
【ガソリン使用量削減】 目標値-0.2%と比較し、実績値は-3.6%となり、目標を達成できた。前年度比では、+8.8%の増加となった。今後も、エコドライブ等に留意し、使用量削減に努めるものとする。

【灯油使用量削減】 2020年度より、灯油使用を取り止めたことから、目標値は達成出来た。灯油使用取り止めた事から、次年度より評価項目から削除する。

- 【廃棄物排出量削減】 廃棄物排出量に関しては、目標値-0.2%に対して実績値は+24.4%となり、目標を未達成であった。前年度比でも+17.2%の増加となった。今後も分別を強化しながら廃棄物削減を推進する。
- 【コピー用紙削減】 コピー用紙に関しては、目標値-0.2%に対して実績値は-5.8%となり、目標を達成出来た。また、前年度比では、+2.3%の増加となった。コピー用紙に関しては、業務受注量の増減により使用量も左右される事から、容易に削減出来るものではないが、印刷前プレビューや裏紙印刷、古紙リサイクルに努め、廃棄物排出量削減、コピー用紙削減に努めるものとする。
- 【総排水量削減】 目標値-0.2%と比較し、実績値は-2.5%となり、目標を達成出来た。前年度比でも、-7.7%の現象となった。今後も、節水に努めるものとする。
- 【グリーン購入の推進】 環境ラベルの付いたOA機器（パソコン、プリンター等）、文房具類（報告書用パイプファイル、コピー用紙等）、社用車（低排出ガス車認定車）を導入している。今後も、グリーン購入の推進を継続して進めるものとする。
- 【自社の製品・サービスに関する環境配慮】 設計業務に於いて、再生材使用を図面等に仕様として提案している。今後も、継続して環境に配慮した提案を継続するものとする。
- 【地域貢献活動】 年2回、愛護団体活動と清掃活動を行っている。今後も、継続して地域貢献活動を行うものとする。

◇過去3年間の実績値をグラフにしてまとめました◇

1. 二酸化炭素排出量の削減



【基準値との対比】

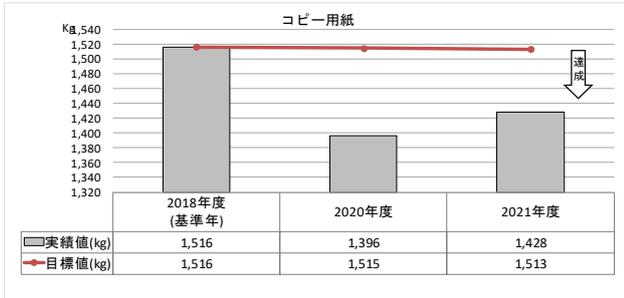
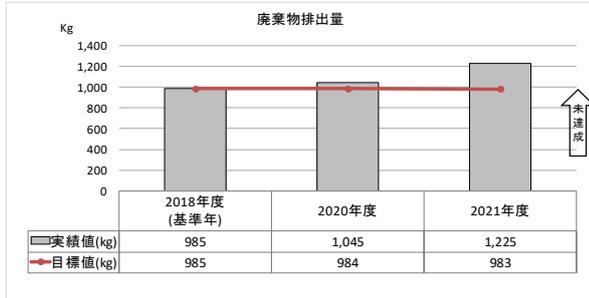
- <目標達成>
- ・ガソリン使用量：-3.6%
- ・灯油使用量：-100.0%

- <目標未達成>
- ・二酸化炭素排出量：+4.3%
- ・電力量：+10.5%

【2020年度との対比】

- <減少>
 - ・無し
- <増加>
 - ・二酸化炭素排出量：+16.9%
 - ・ガソリン使用量：+8.8%
 - ・電力量：+10.0%

2. 廃棄物排出量の削減、コピー用紙削減



【基準値との対比】

- <減少>
 - ・コピー用紙：-5.8%
- <目標未達成>
 - ・廃棄物排出量：+24.4%

【2020年度との対比】

- <減少>
 - ・無し
- <目標未達成>
 - ・コピー用紙：+2.3%
 - ・廃棄物排出量：+17.2%

3. 総排水量（上水道）の削減



【基準値との対比】

- <目標未達成>
- ・上水道：+9.4%

【2020年度との対比】

- <減少>
- ・上水道：-7.7%

6.2 環境経営活動の実績・取組結果とその評価

当社の環境経営活動と取組結果を次に示す。評価は、4段階に分け実施した。

◎良く出来た ○まずまず出来た △あまり良く出来なかった ×全く出来なかった

目標項目	取組項目	達成状況	評価(結果と今後の対策)
CO ₂ 排出量削減	昼休み時の電気消灯。	◎	2022年度も継続して実施する。
	洗面所未使用時の消灯。	◎	
	階段照明のこまめな消灯。	○	
	残業時の照明は、必要最小限度とする。	○	
	個人での電力使用を控える。	○	
	エアコン設定温度の一定化。	○	
	エアコン使用時間の制限	◎	
	不要な蛍光灯・電源の取り外し。	△	対策済み。
	よしず等で室内への熱遮断。	△	
	エアコン室外機への熱遮断対策など。	△	
	外出時はパソコン電源オフを徹底。	○	2022年度も継続して実施する。
	退社時に、プリンター及びコピー機の電源オフ。	△	対策済み。
	パソコンの設定を省電力に変更する。	○	2022年度も継続して実施する。
	社員のエレベータ使用抑制。	○	
	E7コンフィル、年二回の清掃(6月及び12月)。	◎	
急発進、急加速を控え、法定速度の遵守。	○		
長距離移動(県北振興局管内等)の場合、高速道路を利用する。(ETC設置の車に限定)	◎		
タイヤ空気圧の点検を定期的実施する。	○	定期的なオイル交換並びにタイヤ空気圧点検があまり良く出来なかった部署があった事から、車両管理者に是正を促す。	
オイル交換を定期的実施する。	○		
廃棄物減排出量削減	社内資料はカラーでなく極力白黒にする	○	2022年度も継続して実施する。
	印刷前にプレビューして、印刷内容を確認し、試用並びにチェック用は裏紙を使用する。	○	
	古紙については、「ながさきオフィスエコクラブ」に加入し、古紙リサイクルに協力する。	◎	
	古新聞については、新聞販売店に回収を依頼。	○	
量削減 排水	手洗い水の節水。	○	
パッケージ購入	環境対応品を導入する(導入済み)。	△	対策済み。今後も継続して導入する。
環境に配慮する 自社の	環境に配慮した設計を行う。	○	2022年度も継続して実施する。
地域貢献	愛護団体活動に参加し、地域の清掃美化活動に取り組む。	◎	2022年度も愛護活動を継続し、地域清掃を実施する。

6. 3 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

6. 3. 1 次年度の環境経営目標

1) 本社

環境経営目標項目		単位	2018年度 基準値 通年	2020年度	2021年度	2022年度
二酸化炭素排出量削減	総量		44,828	44,783	44,738	44,694
	kg-CO2/人		996	933	932	860
	削減率		-	-0.1%	-0.2%	-0.3%
電力量削減	総量		44,730	44,685	44,641	44,596
	kWh/人		994	931	930	858
	削減率		-	-0.1%	-0.2%	-0.3%
ガソリン使用量削減	総量		10,980	10,969	10,958	10,947
	リットル/人		244.0	228.5	228.3	210.5
	削減率		-	-0.1%	-0.2%	-0.3%
灯油使用量削減	総量		702	701	-	-
	リットル/人		15.60	14.60	ストーブ廃止の為、 灯油の項目削除	
	削減率		-	-0.1%		
廃棄物排出量削減	総量		985	984	983	982
	kg/人		21.89	20.50	20.48	18.89
	削減率		-	-0	-0.2%	-0.3%
コピー用紙削減	総量		1,516	1,515	1,513	1,511
	kg/人		33.69	31.55	31.52	29.06
	削減率		-	-0.1%	-0.2%	-0.3%
総排水量削減	総量		318.0	317.7	317.4	317.0
	m3/人		7.07	6.62	6.61	6.10
	削減率		-	-0.1%	-0.2%	-0.3%
グリーン購入の推進	環境対応品を導入する	品目	報告書用ファイルは、環境仕様品を購入	報告書用ファイルは、環境仕様品を購入	報告書用ファイルは、環境仕様品を購入	報告書用ファイルは、環境仕様品を購入
自社の製品・サービスに関する環境配慮	環境に配慮した設計を行う	実績	再生材の利用、環境に配慮した工法の提案	再生材の利用、環境に配慮した工法の提案	再生材の利用、環境に配慮した工法の提案	再生材の利用、環境に配慮した工法の提案
地域貢献	愛護団体活動に参加し、地域の清掃美化に取り組む。	実施回数	2回/年	2回/年	2回/年	2回/年
本社 社員数		名	45	48	48	52
稼働日数		日	244	243	242	242

注1) 電力の排出係数は、九州電力のR2年度（H30年度実績）排出係数:0.347 kg-CO2/kWh
長崎地域電力のR2年度（H30年度実績）排出係数:0.502 kg-CO2/kWh

注2) 環境経営目標値は本社を対象とし、営業所については定性的な目標のみを定めるものとする。

2) 営業所

環境経営目標項目	定性的目標
二酸化炭素排出量削減	営業活動時のCO2削減に努める（エコドライブの推進）

6. 3. 2 次年度の環境経営計画

環境文書類：様式6

作成者：口石敏政
作成日：2021. 4. 1

環境経営活動計画書

責任者 口石敏政

目標項目	目標値	達成年度	活動内容	
CO2 排出量 削減	電力量 削減	0.3%/3年	2022年度	昼休み時の電気消灯。
				洗面所未利用時の消灯。
				階段照明のこまめな消灯。
				残業時の照明は、必要最小限度とする。
				個人での電力使用を控える。
				エアコン設定温度の一定化。
				エアコン使用時間の制限等
				不要な蛍光灯・電源の取り外し。
				よしず等で室内への熱遮断。
				エアコン室外機への熱遮断対策など。
				外出時はパソコン電源OFFを徹底。
				パソコンの設定を省電力に変更する。
				社員のエレベータ使用抑制。
				エアコンフィルタ、年二回の清掃（6月及び12月）。
使用燃料 削減	0.3%/3年	2022年度	急発進、急加速を控え、法定速度の遵守。アイドリングストップ。	
			長距離移動（県北振興局管内等）の場合、高速道路を利用する。（ETC設置の車に限定）。	
			タイヤ空気圧の点検を定期的実施する。	
			オイル交換を定期的実施する。	
廃棄物 排出量 削減 コピー 用紙 削減	使用枚数 削減	0.3%/3年	2022年度	社内資料はカラーでなく極力白黒にする。
				印刷前にプレビューして、印刷内容を確認し、試用並びにチェック用は裏紙を使用する。
				古紙については、「ながさきオフィスエコクラブ」に加入し、古紙リサイクルに協力する。
				古新聞については、新聞販売店に回収を依頼。
総 削減 水量	水道使用 量削減	0.3%/3年	2022年度	手洗い水の節水。
グ 購 入 ン	環境対応品の導入		2022年度	環境対応品を導入する。
境 ス サ 自 配 る に 社 慮 環 関 ビ の	環境に配慮した 設計を行う		2022年度	環境に配慮した設計を行う。
貢 地 献 域	2回/1年		2022年度	愛護団体活動に参加し、地域の清掃美化活動に取り組む。

7. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、 並びに違反、訴訟などの有無

環境関連法規	該当項目	遵守状況	確認日
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	第3条、第12条第5項 許可業者への委託	○	2022/3/31
	第6条の2第6項 一般廃棄物の処理	○	2022/3/31
	法第12条第6項 令第6条の2 則第8条の4、4の2、4の3 委託基準の遵守	○	2022/3/31
	法第12条 処理基準 法第12条2 保管基準 法第12条5 委託基準 法第12条の3 産業廃棄物管理票の交付、 保存	○	2022/03/31
長崎市廃棄物の減量及び 適正処理に関する条例	第7条：事業者の責務	○	2022/3/31
騒音規制法	第14条、第15条 特定建設作業に関する規制	○	2022/3/31
振動規制法	第14条、第15条 特定建設作業に関する規制	○	2022/3/31
フロン排出抑制法	法第16条1項 H26 経産・環境省告示13号	○	2022/3/31

環境関連法規への違反はありません。なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去1年間ありません。また、環境に関する外部からの苦情や訴訟は、ありません。

なお、騒音規制法や振動規制法に関しては、設計成果品の施工計画の立案等において、工法・工事中重機等の選定にあたり、当該法規を考慮していることから、掲載しております。

2022年6月1日
環境管理責任者
口石 敏政

8. 代表者による全体の評価と見直し・指示

ea21活動については、実施8年目を終えた。社員一人ひとりがエコ意識を持って活動してきた成果もあり、ガソリン使用量、コピー用紙、総排水量に関しては削減目標を達成した。電力量は目標未達成であり、その結果二酸化炭素排出量についても、目標未達成となった。

二酸化炭素排出量、電力量、廃棄物排出量に関しては、目標値に未達ではあったが、総合的に見て環境経営システムは適切に運営されている。

2022年の活動においても、現在の環境経営システムを継続するものとする。

2022年6月1日
株式会社オリエントアイエヌジー
代表取締役 中島 靖人